

FY24/3期2Qは売上高及び利益ともに大幅な増収増益を達成。利益は期初予想を大きく上回り下期増配を決定

2Q Flash



決算サマリー: 11月14日(火)の引け後にFY24/3期2Q決算が発表された。連結ベースの主要数値は、売上高111億37百万円(前年同期比28.5%増)、営業利益7億37百万円(同56.9%増)、経常利益8億10百万円(同71.8%増)、親会社に帰属する四半期純利(以下、当期利益)は5億10百万円(同81.9%増)。期初予想に対して売上高は概ね計画通りであったのに対して、利益はバックオフィスに関わる人件費の減少などから期初予想を1割強上回った。FY24/3期会社通期予想もその分上方修正された。

■ 2Q事業別動向

同社のコア事業である建設技術者派遣を展開するコプロ・エンジニアードは過去最高の採用数により売上高が大幅に伸長。1Qにおける新卒技術者の増加に伴う研修期間中の待機労務費の増加・人材紹介料や人件費の増加を吸収し、前年同期比169百万円の営業増益を達成した。機械設計開発技術者派遣・請負サービスを展開するアトモスは売上単価の改善と売上原価率の低下により、売上高および売上総利益が大幅に増加し、販管費率の低下も寄与したことから同29百万円の営業増益になった。SES(システムエンジニアリングサービス)のバリューアークコンサルティングは広告宣伝費を積極投入したことによる費用先行により、同20百万円の営業減益であった。

本社関係ではバックオフィスのスリム化による人件費や株式報酬費用などが減少し、2Qの販管費は同10.2%増で売上高の増収幅を大きく下回った。この結果、対売上高販管費率は20.9%で前2Qの24.4%から大きく低下した。

■ FY24/3通期業績見通し

2Qは期初予想を上回ったため、FY24/3通期予想も2Qの増額分だけ上方修正された。3Q以降も人材の需要は堅調に推移し、管理費のコントロールも継続するが、2024年4月に控えた建設業界への時間外労働の上限規制適用に伴い、拡大する需要を確実に獲得するために、機動的に採用費等の費用を投入し、事業成長の礎である技術者を一人でも多く確保する方針であることが下期の予想を変更しない理由と挙げている。また、期末のDPSを5円増配し通期DPS予想を40円から45円に増配した。SIRでは取材後にフォローアップレポートを発行する予定。

決算期	売上高 (百万円)	前年比 (%)	営業利益 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	当期利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS ⁽³⁾ (円)	DPS ⁽³⁾ (円)
FY19/3	10,819	20.7	1,344	50.3	1,336	51.1	938	54.4	113.8	21.0
FY20/3	13,122	21.3	1,592	18.4	1,585	18.6	1,084	15.5	115.1	30.0
FY21/3	14,836	13.1	1,437	-9.7	1,439	-9.2	1,009	-6.9	53.4	37.5
FY22/3 ⁽¹⁾	15,589	5.1	1,621	12.8	1,619	12.5	962	-4.6	51.1	20.0
FY23/3 ⁽²⁾	18,791	20.5	1,321	-18.5	1,324	-18.2	864	-10.2	46.5	25.0
FY24/3(会予)	24,298	29.3	2,042	54.5	2,115	59.7	1,361	57.4	72.3	45.0
FY23/3 2Q	8,670	17.1	469	-25.7	472	-25.2	280	-14.6	14.9	5.0
FY24/3 2Q	11,137	28.5	737	56.9	810	71.8	510	81.9	26.2	15.0

出所：同社決算短信よりSIR作成

(1):FY22/3期は「収益認識に関する会計基準」等を適用しているが、その影響が軽微であるためSIRでは対前年同期増減率を記載している。(2):2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行った。(3):1対2の株式分割を反映して遡及修正後のEPSとDPSを記載している。

チームカバレッジ

research@sessapartners.co.jp



ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp